

概要

医療職として必須・不可欠な「トリアージ&アクション」の特別集中研修です。薬剤師として働いている環境のなかで遭遇しうる急変場面を想定し、成人症例では「目の前の患者の緊急度をどのように見極めるか?」、「ショックを認識し、その急変を予測する」を勉強し、小児症例では「小児の全身状態をどのように見極めるか?」、「小児の有熱性けいれん!そのときどう考え、どう動くか」についてシミュレーションを通して学び、明日からの職場で自信をもって医療に参画しましょう。

1	主催 共催	神戸学院大学 薬学部 一般社団法人 こどものみかた 日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部
2	研修開催日	平成30年2月24日(土) 9:30~17:00
3	研修会場	神戸学院大学 薬学部 C号館会議室 アクセス http://kobegakuin-yakugaku.jp/access/index.html
4	認定単位	薬剤師:4単位 (認定薬剤師単位)
5	受講資格	薬剤師
6	定員	15名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:平成30年2月9日(金)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。 申し込み先: https://goo.gl/ymPQwc
8	受講振込	申込を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。 ※ 指定期日内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	10,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

プログラム

平成30年2月24日(土) 9:30~17:00

9:00~	受付
9:30~ 11:00	①「患者の緊急度をどのように見極めるか？(トリアージ&アクション!)」 講師：土肥 直樹 「薬局の待合室で患者さんが急に体調を崩しました!」、「在宅の訪問先で患者さんの状態が普段と違います!」、このような場面に遭遇した場合、薬剤師としてどのように緊急性を見極め、次の行動に移りますか?血圧計や酸素飽和度測定器がなくとも緊急度を見極めることは可能です。本コースでは薬剤師として、患者の緊急度の見極めをどのように行うべきかを皆さんと一緒に体験します。 1.患者の急変を見極める手順 2.バイタルサインをどのように活用するか
11:10~ 12:40	②「ショックの急変を予測する」 講師：土肥 直樹 薬局の待合室に座っている患者さんが「気分が悪い…」と訴えました。先ほど医療機関を受診されたばかりの患者さんなので問題ないだろうと様子を見てもらっていましたが、徐々に顔色が悪くなり、手には冷や汗をかいています。薬剤師のあなたは、何をもって急性のある状態と判断し、医師にどのような連絡をしますか?ショックの患者を通して緊急度の見極め方と医師へのプレゼン方法を学びます。
12:40~ 13:30	昼食(各自)
13:30~ 15:00	③「小児の全身状態をどのように見極めるか?」 講師：茂木 恒俊 薬局の待合室で3歳の患児が来た時よりもぐったりしている。今日は病院に行き、母親と一緒に処方箋を持ってきた。ちょっとこどもの様子が気になる。このような場面に遭遇した場合、薬剤師としてどのように全身状態を判断しますか?こどもの全身状態を系統的に評価することを学び、ロールプレイで実際に体験します。
15:10~ 16:40	④「小児の有熱性けいれん!そのときどう考え、どう動くか」 講師：茂木 恒俊 薬局の待合室で3歳の患児が突然のけいれん。このような場面に遭遇した場合、薬剤師としてどのような事に注意して対応すべきなのか?また、どのタイミングで医師に相談するのか?その際にどのような事を伝えるべきなのか?グループワークを通して経験を共有したあとに、講義とロールプレイで学びを深めていきます。
16:40~ 17:00	まとめ・アンケート・記念撮影

